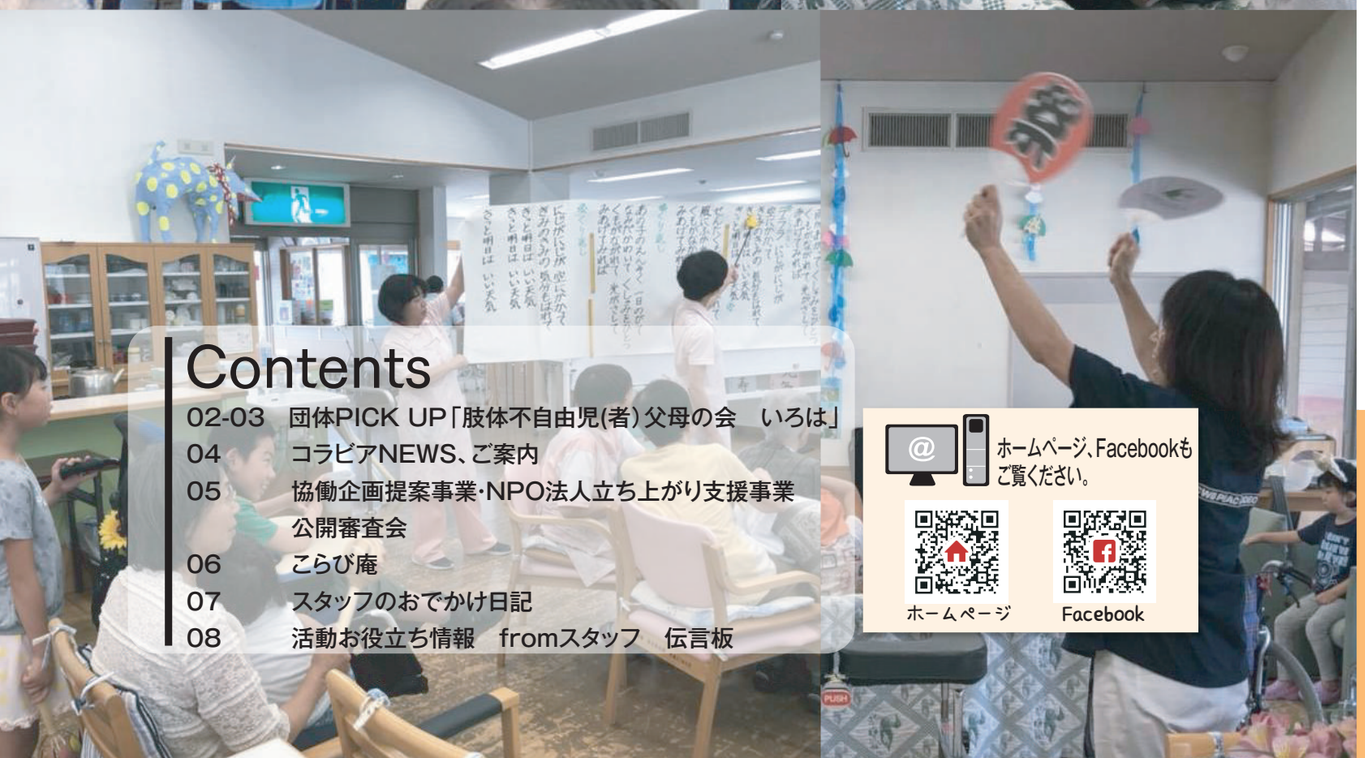
大府市民活動センター【コラビア】情報誌

こらびぃ

vol.36
2018年夏号

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」



Contents

02-03　団体PICK UP「肢体不自由児(者)父母の会　いろは」
04　コラビアNEWS、ご案内
05　協働企画提案事業・NPO法人立ち上がり支援事業公開審査会
06　こらび庵
07　スタッフのおでかけ日記
08　活動お役立ち情報　fromスタッフ　伝言板

ホームページ、Facebookもご覧ください。

ホームページ　Facebook

伝言板

■個人登録の皆様へ

コラビア登録団体の事務局様宛にコラビアからの郵便物（情報誌やチラシなど）を発送しています。同じように、個人登録をされた皆様にもお届けしています。

ただし、団体の事務局を兼ねていらっしゃる方には重ねての発送を控えさせていただいております。必要な方は、個別にスタッフまでお申し出ください。

■フラワースタンディング、グリーンカーテンの設置

155号線から見える「大府市民活動センター」の立て看板の横に、登録団体である「オープンガーデン知多半島おしゃれ園芸クラブ」のご協力で、フラワースタンディングが3基設置されました。少しずつ花も大きくなり、ボリュームが出てきて、これからも楽しみです。また、毎年恒例のグリーンカーテンも設置しました。いよいよ夏がやってきますね。

活動お役立ち情報

東海ろうきん未来応援寄附金

一般財団法人中部圏地域創造ファンド
募集：平成３０年６月５日(火）～７月５日(木)
活動テーマ：「子どもの健全育成」と「就労支援」
寄付額：活動テーマ１件について３０万円、計２件６０万円
対象団体：愛知県内に事務所を置き、県内で主要に活動していること。法人格の有無、種別は問わない。
詳細は(財)中部圏地域創造ファンドのホームページをご覧ください。

第90回リユースPC寄贈プログラム・第6回プロジェクター寄贈プログラム

認定NPO法人イーパーツ
募集：平成30年６月１８日（月）～７月１８日（水）
寄贈内容：ノート型PC（合計40台、1団体上限10台まで申請可）
液晶モニター（合計40台、1団体上限10台まで申請可）
プロジェクター（合計22台、1団体上限1台）
費用：ノート型PC　1台あたり7,980円
液晶モニター　1台あたり2,980円
プロジェクター　1台あたり4,980円
詳細は認定NPO法人イーパーツのホームページをご覧ください。

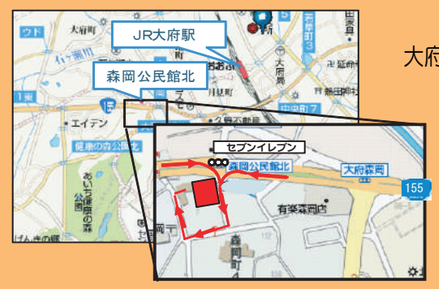
※コラビアでは申請の仕方や書き方などの相談窓口もしております。

fromスタッフ

NHK連続テレビ小説「半分、青い。」は観ていますか？大阪万博の翌年に主人公の女の子（すずめ）は生まれました。ちょうど私達世代。漫画家デビューを夢見ながら天真爛漫に邁進しています。

このドラマを見ていると、あの頃の私を思い出します。天真爛漫とは程遠く、みんなに合わせ自分の意見も言わず、目立たないようにすることが正しいことだと思い込み、頑張っていたあの頃。年月を経て、自分らしく生きたいと思うようになった今。相変わらず、あっちこっちにぶつかってはいるけど、ちょっとは成長したかなぁ。ココロが喜び、心地よいと思うことを追い求め、自分を信じてみよう。すずめのように、真っ直ぐ明るく前向きに。

りんちゃん



大府市民活動センター【コラビア】情報誌 こらびぃ

■発行／大府市民活動センター【コラビア】
■指定管理者／認定特定非営利活動法人 愛知ネット
■所在地／大府市森岡町四丁目8番地
■開館時間／午前9:00 ～ 午後10:00
■休館日／1)月曜日　2)8月13日～8月15日まで　3)12月28日～翌年1月4日まで
■連絡先／大府市民活動センター　電話:0562-44-8500　FAX:0562-44-8511

団体 PICK UP!

【肢体不自由児（者）父母の会 いろは】障がいを抱える人やその家族が安心して豊かに暮らしていける地域を目指す

◇代表の大塚さんとは

ある時はパン職人、ある時はギタリスト、ある時はコラビアの水漏れを修理してくれる職人さん。とても多才な大塚さん。いつもにこやかで「怒ることってありますか」と聞きたくなるほど、朗らかな雰囲気をお持ちです（実際怒ることはあまり無いようです）。3人のお子さんのパパで、ご長男は半田市のひいらぎ特別支援学校に通われています。「肢体不自由児（者）父母の会いろは」の代表だけでなく、様々な会の代表や副代表なども兼任する大塚さん。温かい人柄に加え、熱い想いを持って活動されています。

■団体名の由来と設立のきっかけは？

「肢体不自由児（者）父母の会○○」と、○○には地名が入ることが多いのですが、大府市に限定しないで広く皆に関わってほしいという思いから地名にはしませんでした。メンバー全員で考えた「いろは」は、彩りをイメージしていて、子ども達それぞれの個性を大切にしたい、伸ばしたいという思いを込めました。

団体設立のきっかけはいくつかあります。大府市内に特別支援学校が新設されるという話があり、そこに市内の肢体不自由児も通うことができないだろうか、と仲間で話を聞きに行ったことがありました。その時、当事者の思いを伝えるには、個人個人で動くより、団体として意見をまとめた方が良いと感じました。また、議員や県の職員の方々に会う機会があり、子ども達も一緒に連れて行ったところ、こういった方々に、子どもたちのありのままの姿を見てもらうことの大切さを痛感しました。これらの体験に加え、子ども達が小学校に通う年齢になり、親同士の関係が希薄になってしまうのを防ぎたい、横のつながりを持ち続けたいという想いもあり、団体を立ち上げることに至りました。

■普段はどんな活動をされているのですか？

基本的な活動としては不定期の座談会、こらび庵でのワンデイシェフ、老人福祉施設での音楽慰問活動、地域イベントでの演奏、勉強会など。老人福祉施設へは年に3、4回子ども達と一緒に行っています。おじいちゃん、おばあちゃんたちは子ども達の顔を覚えていてくれてお互いに良い時間になっているように感じます。

「肢体不自由児（者）父母の会 いろは」代表
大塚（おおつか） 良孝（よしたか）さん

また、時々フェイスブックやチラシを見て相談の電話がかかってくることもあります。東京や大阪からかかってきたこともあります。当事者同士じゃないとわからないこともあり、一人の親として僕自身がお話を伺います。勉強会は年に1～2度行っています。昨年10月には大同病院の先生をお招きしてお話を伺いました。重度心身障がい児者を取り巻く環境に問題はたくさんあります。その問題を皆で共有して改善に向けて何ができるか、ということを意見交換会なども行いながら模索しています。

■活動の中で意識して大切にしていることは？

各家庭の想いを大切にしたいと思っています。「いろは」のメンバーだって十人十色、子どもたちの障がいにも幅があります。そして、みんな様々な事情を抱えています。だから、みんなをまとめるというよりそれぞれの気持ちを尊重し、押し付けにならないよう、謙虚な気持ちを持ち続けたいです。また、ネットワークもとても重要で、近隣市町や知多地域の関連団体の会合などにも参加しています。顔を合わせることで、その時々の情報を得ることができます。

■団体として活動を始め、これまでに印象に残っているエピソードはありますか？

今年の10月に「児童発達支援センターみのり」が大府市森岡町に開所します。この施設は岡村市長（当時副市長）が選挙時の公約で肢体不自由児の発達支援施設の建設を掲げており、僕たちの要望にも耳を傾け、取り入れて下さってできる施設です。その「みのり」の建設検討委員会に参加し、どんな形で建てるかということに関わることができました。責任を強く感じましたが、とても嬉しかったです。

他にも、いろいろなイベントやコラビアでのワンデイシェフ活動などでメンバー同士がにこやかに交流しているのを見ると、横のつながりを持ち続けたいという当初の願いが形になっていて嬉しく思います。

■今後の課題、夢について教えてください。

学校を卒業していく子ども達（18歳以上）の進路先の確保が今後の課題です。関係機関としっかり連携して解決していきたいです。

夢は、何か困ったことがあった時に、「いろは」に聞いてみようと思いだしてもらえるような存在になることです。勉強会に参加したり、多様な機関とつながることで自分の引き出しが増えてきました。相談を受けた時どなたに聞いたら良いのか、ということがわかりつつあります。例えば、性についてはあの先生、成年後見人についてはこの先生、などです。

肢体不自由児者を取り巻く環境を良くしていこうという方はたくさんいらっしゃいます。でも、それぞれがつながっていないこともあるので、おこがましいかもしれませんが、そのような方々や機関をつなぐ手助けができるようになりたいと思います。そして、障がいを持っている人やその家族が安心して豊かに暮らしていける地域にしていきたいです。

■終わりに

「肢体不自由児（者）いろは」のことをもっと詳しく知りたい方、会に入りたい方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡ください。（入会条件、会費はありません。）

連絡先：肢体不自由児（者）父母の会　いろは
代表　大塚
（090-4

「肢体不自由児（者）父母の会いろは」の活動は、大府市民活動支援サイト、ホームページ、Facebook などでご覧いただけます。 いろは　大府市

コラビアNEWS
コラビア主催講座などの様子を報告します。

◆スキルアップ講座
「裏技伝授！コラビア活用術」
4月14日(土)10時～12時
講師：朝倉治郎(コラビアスタッフ)
参加者：6名

コラビアをぜひ、活用してもらいたいというスタッフの思いで企画したこの講座。ちょっと参加者は少なかったですが、アットホームな雰囲気の中、コラビア活用術を紹介させていただきました。

前半でコラビアの概要、スタッフ一人一人についてどんな分野に強いのか紹介しました。スタッフを身近に感じてもらうことも活用術の一つです！

後半はコラビア館内をぐるっと回り、チラシやポスターの掲示コーナー、ギャラリー、こらび庵などについて説明し、印刷室の様々な機器も紹介しました。普段なかなかお話しできない裏技を織り交ぜながら詳しく説明しました。最後に、資料と画面を見ながら、「大府市民活動支援サイト」を紹介しました。これを機に、コラビアをうまく活用していただけたら幸いです。

◆車座集会
「お家で死にたい、在宅看取り
～本人と家族の備え～」
5月12日(土)10時半～12時半
ゲストスピーカー：菊池勝子さん
(NPO法人さわやか愛知　福祉サポートセンター管理責任者)
参加者：27名

今回は「死生観」をテーマにした車座集会を開催いたしました。現役のケアマネージャーを招き、前半は在宅看取りの実情や実際に体験した事例のお話、後半は「死生観」をテーマにしたワークショップを行いました。

「死」をテーマに扱った内容なので、重～い雰囲気の車座集会にならないかと若干の不安もありましたが杞憂でした。参加された皆さんは菊池さんのお話に真剣に耳を傾け、グループでの意見交換会では笑いがあちこちから聞こえ盛り上がっていました。普段家族の間でもなかなか話しにくい「死」について「真面目に楽しく話せる場」となって良かったと思います。

ご案内

●車座集会
「昭和の時代にタイムスリップ！
～ちょっと昔の時代を体験してみよう～」
◎開催日時：7月26日(木)13時～15時
◎ゲストスピーカー：相羽正康さん(電子紙芝居発表グループ「お山の杉の子」代表)

▼内容：ちょっと昔の昭和の時代、戦後間もなく各家庭にはテレビや冷蔵庫はありませんでした。その中で子ども達に流行していた遊び、お菓子、懐かしいおもちゃなどを体験していただきます。次の世代に「昭和の良さ」を教えてあげましょう。世代を超えた交流でタイムスリップしてみませんか？
▼参加費：ひとり100円(お菓子付き)
▼申込み：6月30日(土)から(電話または直接コラビアへ)
▼対象：子どもとその保護者(子どもだけ、大人だけも大歓迎！)
▼定員：20組(40名)先着順
▼エンジョイ！コラビア2018の1企画として開催します。

協働企画提案事業・NPO法人立ち上がり支援事業　公開審査会
2018年6月23日(土)

◆6月23日(土)14時からコラビア会議室にて協働企画提案事業・NPO法人立ち上がり支援事業の公開審査会が行われました。

協働企画提案事業とは大府市協働のまちづくり推進条例に基づく施策の一つで、市民から事業の企画・提案を公募し、書類審査及び公開審査により適当と認められた場合に、その事業に必要な経費の一部を市が交付する制度です。

また、NPO立ち上がり支援事業は、協働のまちづくりをさらに推進するため、協働の担い手となるNPOの育成、法人化に向けての財政的な支援を行う補助金制度です。

今年度は、協働企画提案事業に4団体、NPO立ち上がり支援事業に2団体の応募があり、5月30日の書類審査とこの公開審査を終え、すべての団体が採択されました。交付及び補助の金額については後日大府市のホームページに掲載されます。

今回採択された6団体の今後の事業展開により、大府市の協働のまちづくりがさらに推進されることを期待しています。また、今年度の事業について年度末の来年3月に報告会を開催します。今回の公開審査会同様、傍聴が可能です。申請を検討している団体はもちろんのこと、活動をPRするプレゼンテーションの勉強にもなりますよ。どうぞお見逃しなく！

審査員の前での発表はとても緊張されたと思いますが、みなさん素晴らしいプレゼンテーションでした。お疲れ様でした。

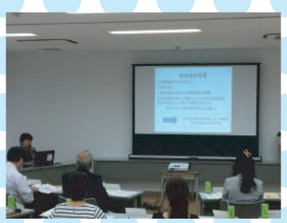
これらの事業に関心のある方はコラビアスタッフまたは、大府市協働推進生涯学習課にお問い合わせください。

▶協働企画提案事業
「みらいっ子育て応援実行委員会」

▶協働企画提案事業
「大府つなぐママの会」

▶協働企画提案事業
「おさんぽや「なないろ」」

▶NPO法人立ち上がり支援事業
「NPO法人　TRILL」



▶NPO法人立ち上がり支援事業
「NPO法人
わかち･つむぎあい」

▶協働企画提案事業
「ファミリーフェスタ
実行委員会」

食を通して発信したい!そんなシェフさんを応援しています。

こらび庵

■シェフ衛生講習・交流会開催

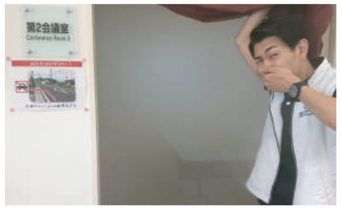
2018年6月11日(月)
午前10時～12時

コラビア休館日を利用して、日頃こらび庵で活躍してくださっているシェフさんに集まって頂き、衛生講習会を行いました。暑くなるこの時期から気をつけなければいけない食中毒について、知多保健所より講師の方をお招きし、手洗いの大切さ、食品の取り扱いの注意点など詳しくお話ししていただきました。皆さん真剣に聞いていました。私もとても勉強になりました。

例年は水消火器による消火訓練を行っていましたが、今年は、消防署から機械を借り、会議室で煙体験を実施しました。煙で充満した第2会議室をぐるっと一回りしていただきましたが、視界の悪さや息苦しさについては、貴重な体験ができたという意見を多くいただきました。実際に煙の中を移動する時は、右手を使ってハンカチ(湿っているとなお良い)で口と鼻をおおい、左手は壁などを触って、進路を確認するそうです。姿勢を低くして移動することも大切だそうです。

交流会では、皆さんと日ごろの活動や、コラビアのイベントについて意見交換をしました。貴重な意見をたくさん頂き、今後のコラビアに反映していきたいと思っています。

今回美味しいケーキを用意してくださったのは【和みカフェ】のシェフさんです。二種類のケーキを美味しく頂きました。ありがとうございました。



7月 ランチ一律￥650　コーヒー1杯￥150　こらび庵 0562(44)8500

	シェフ名	メニュー	PRコメント
4日(水)	ときどき	ルゥを使わないスパイスを使ったカレー、デザート	市販のルゥを使わずにスパイスを使って体に優しく美味しいカレーを作ります♪
6日(金)	BLOSSOM	タコライス、スープ、夏野菜を使ったスペシャルムース	夏にぴったりボリュームたっぷりタコライスです。今回はケーキにも力を入れています。夏野菜の代表格○○を使ったムースはどうぞ期待！！
14日(土)	大府めん'sクラブ	【鍋やき土鍋うどん定食】ごはん付、天ぷら一品サービス、野菜サラダ、漬物	本格的細めの手打ちうどん。5名限定ぞうすいにします。煮込みます。
18日(水)	キャロット(バースデー)	韓国風のり巻き、イモ天、トマトキムチ、ワカメスープ、さきイカのコチュジャン和え	牛肉入り韓国風のり巻き。さっぱりしています。おいしいよ！
19日(木)	キャンディーズ	エビにら焼きギョウザ、麻婆豆腐、中華サラダ、スープ、ご飯、デザート	暑さを美味しい中華を食べて吹き飛ばそう

詳細はHPまたはチラシをご覧ください♪

「食べること」「作ること」を通して、○○を伝えたい！というテーマで、23企画のイベントを企画団体が開催します♪

エンジョイ！コラビア2018
7月20日(金)～31日(火)

20日(金)	夏の果物のフルーツパフェづくり	26日(木)	かわいい白玉を作って食べよう！
	真空の謎に迫るオモシロ科学実験		廃油でせっけんを作ろう
21日(土)	コラビア朝市		昭和の時代にタイムスリップ！
	招き猫にペインティングしよう♥	27日(金)	「だし」をとってみよう
22日(日)	流しそうめん食べ放題(25分間)		飾り巻き寿司を作ろう！
	ボードゲームで友だちを作ろう！		コラビアに虹をかけよう！
	マンカラで遊ぼう！	28日(土)	風船で「ミニオン」作ろう
24日(火)	ハーバリュームで花あそび		昔の懐かしい歌をみんなで歌おう
	親子でコーディショナルトレーニング	29日(日)	親子そば打ち体験
25日(水)	韓国の美味しいお好み焼きを！	31日(火)	ベジパフェを作って食べよう！
	カレーって本当に栄養食なの？		0歳～絵の具遊びで描くスイカ！
			アロマで食べようかき氷

ランチ予約は
コラビアまで
0562（44）8500

2018年7月
★今月のオープン予定日★

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

＝エンジョイ！コラビア2018開催期間

スタッフのおでかけ日記

障がい者活動センター愛光園へ「おふくろ」さんと一緒にGO！

とっこ

5月15日(火)社会福祉法人愛光園が運営する「障がい者活動センター愛光園」へ行ってきました。今回は私一人ではなく、ワンデイシェフである「おふくろ」の川原さん、渡辺さんと一緒です。愛光園では様々な重い障がいをもつ人たちがグループ活動を行っています。グループの一つ「くれーる」から調理実習を手伝ってもらえる方の募集依頼があり、それを買って出てくれたのが「おふくろ」のお二人でした。

この日のメニューは、パエリア、サラダ、スープ、マシュマロプリン、クッキーです。たくさんの品数でしたが、さすが手慣れたお二人、手早く、段取り良く作業が進みました。「くれーる」メンバーも大忙し！炒めたり、混ぜたり、カップに移したり。あっという間に時間もたち美味しいランチの完成です。みんな揃って「いただきます！」皆で食べるランチはとても美味しかったです。お腹いっぱい食べた後でもデザートは別腹ですね。クッキーが少し焦げてしまったのはご愛敬(笑)。家族にお持ち帰りのクッキーも用意でき、みんな嬉しそうでした。

食を通じて、障がいの有無に関わらず、人とのつながること、自分達で考え、挑戦し、共に楽しんで学ぶということを体験でき、私自身も勉強になりました。又機会があったらお邪魔したいです。ありがとうございました。

朗読グループおおぶ（紙ふうせん）『第19回朗読のひととき』へGO!

まるちゃん

6月14日(木)朗読グループおおぶ(紙ふうせん)の発表会にお邪魔しました。年に一度の開催で19回目を迎えた今回も、会場の大府市役所多目的ホールは用意した150席がお客様でいっぱいに。毎年楽しみにしている常連さんも多数おみえのようです。

演目は、心の痛みを果物の傷になぞらえた話、笑いを誘う話、昔話、深い余韻のある話、ちょっぴりヒネたシンデレラの話や、出演者全員による童謡『かなりや』の詩などバラエティに富み、読み手の方の個性とあいまった朗読を楽しめる、心潤うひとときでした。

発表会は本選びがとても大切で、選んだ本とじっくり時間をかけて向き合い、お客様に楽しんで聞いてもらえるように表現を整えてゆくのだそうです。

最近、グループ名に(紙ふうせん)を加えたのは、小学校や図書館でお話会をするときに使っていたグループ名「紙ふうせん」も「朗読グループおおぶ」の活動であることが一目でわかるように、とのこと。紙ふうせんを、そっと息を吹き込んでふくらまし、ポンっと投げ合って遊ぶ様に、「声も一方通行ではなく優しく届けたい」という想いが、グループ名に込められているのだと伺いました。うーん、なんて素敵！

おおぶ文化交流の杜allobuの図書館子どもまつりや、月1回のおはなし会でも活動されています。みなさんも一度是非聴いてみてください。